

# いわて男女共同参画プラン

(計画期間 平成 28～32 年度)

## 基本目標

男女が互いに尊重し合い、共に参画する社会

「いわて男女共同参画プラン」は、長期的見通しに立って本県における男女共同参画社会づくりの目標、方向、実現方を総合的に定める計画で、男女共同参画を取り巻く情勢の変化に対応するため、平成 28 年 3 月に改訂しました。改訂後の計画は、男女共同参画社会基本法に基づく県基本計画であるとともに、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく県推進計画に位置づけています。

I 東日本大震災津波からの復興と防災における男女共同参画の推進

II 女性の活躍支援

施策の基本的方向性

III 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備

IV 女性に対する暴力の根絶と女性の健康支援

## 男女共同参画に関する学習、相談窓口

名称 岩手県男女共同参画センター  
住所 〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通 1-7-1  
いわて県民情報交流センター（アイーナ）6 階  
電話 019-606-1761、ファックス 019-606-1765  
Eメール danjo@aiina.jp  
開館時間 【月・水・木】 9:00～19:30  
【火・金】 9:00～20:00  
【土・日】 9:00～17:30  
(年末年始、アイーナ休館日をのぞく)

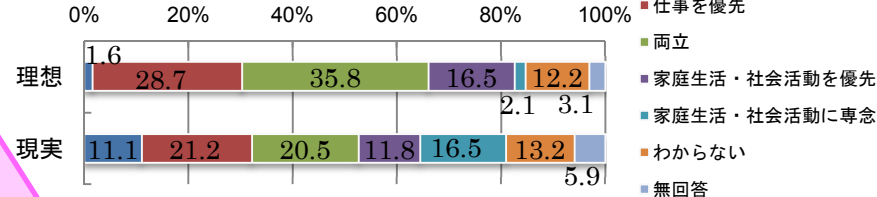
プラン全文  
はこちら

## 【プランに関するお問い合わせ】

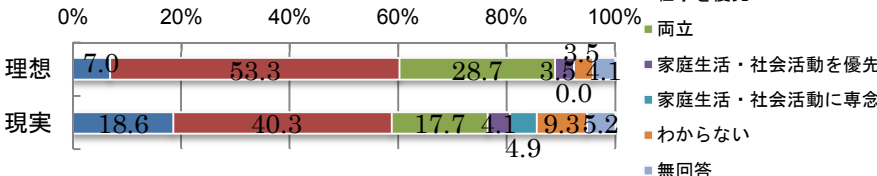
岩手県環境生活部若者女性協働推進室  
住所 〒020-8570 岩手県盛岡市内丸 10-1  
TEL 019-629-5346 FAX 019-629-5354  
E-mail AC0006@pref.iwate.jp



【図1-1】仕事と家庭生活・社会活動の両立について  
(女性について 女性の回答)

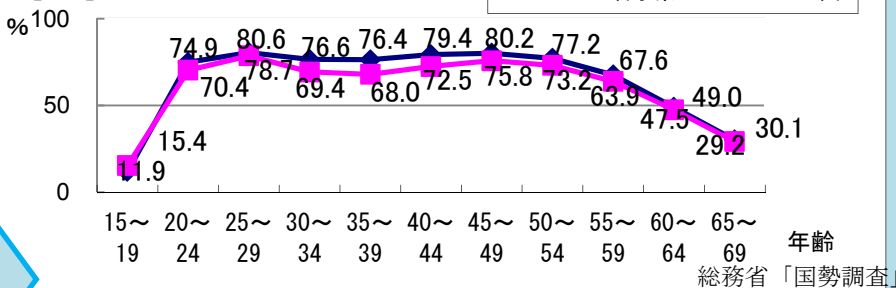


【図1-2】仕事と家庭生活・社会活動の両立について  
(男性について 男性の回答)

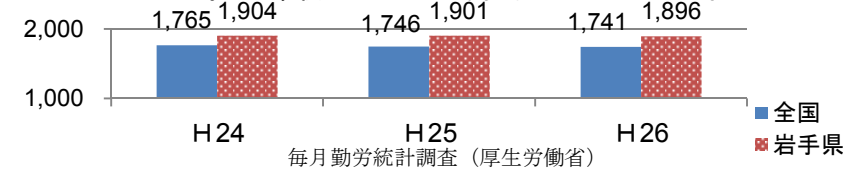


平成 27 年度男女が共に支える社会に関する意識調査(若者女性協働推進室)

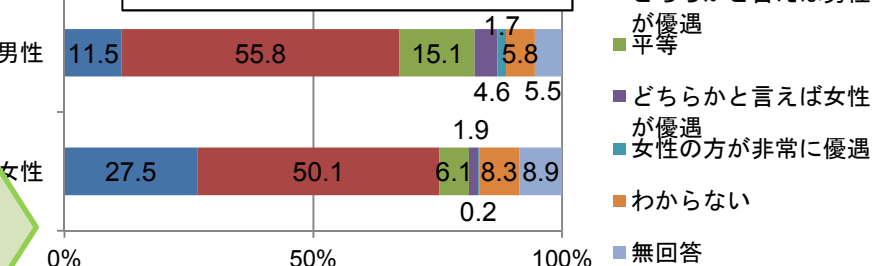
【図2】年齢階級別労働力率(女性)



【図3】都道府県、産業別 1人平均年間実労働時間数  
(事業所規模5人以上) (調査産業計) (単位: 時間)



【図4】男女の地位の平等観  
(社会通年・慣習・しきたりなどで)



平成 27 年度男女が共に支える社会に関する意識調査(若者女性協働推進室)

## 自治会長に占める女性の割合(平成 26 年 4 月 1 日現在)

|     | 自治会長数     | うち女性     | 女性比率 |
|-----|-----------|----------|------|
| 岩手県 | 2,699 人   | 95 人     | 3.5% |
| 全国  | 235,782 人 | 11,108 人 | 4.7% |

地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は助成に関する施策の推進状況(内閣府)

様々な分野に  
男女が参画することで

地域社会の活性化

「ひと」を大切にした社会の形成

生活の質の豊かさ

が実現し、全ての人にとって  
「生きやすい社会」になります。



【普及版】

いわて男女共同参画プラン

(平成 28 年 3 月改訂版)

# 岩手の男女共同参画の現状

## 家庭で

◆「仕事と家庭・社会活動の両立についての理想と現実」については、男性の約3分の1、女性の約4割が「両立させる」を理想としているのに対し、現実「両立している」のは男女とも2割程度となっており、両立に関する理想と現実には差がある状況です。【図1-1、図1-2】



◆「夫のみ仕事」世帯でも、「共働き」世帯でも、夫の家事労働時間は妻の約3割にとどまっています。  
◆「DV防止法の名称又は内容を知っている人の割合」が以前より低下しています。



# 目指す姿と県の施策の方向

## 目指す姿（要約）

- ◆家事・育児・介護などに平等に参画し、パートナーシップを発揮しています。また、生活上困難な状況におかれているひとり親家庭、高齢者、障がい者等が安心して暮らせる環境が整っています。
- ◆互いの身体的性差を十分に理解し合い、妊娠・出産・更年期等、人生の各ステージにおける女性の健康の保持増進が図られています。

## 目指す姿を実現するための県の施策の方向（抜粋）

- ◆家庭の果たす役割や家族・親子のふれあいの大切さについて、意識啓発を図ります。
- ◆女性に対するあらゆる暴力の問題に関する社会の意識を喚起するとともに、暴力防止に向けた啓発、関係法令の内容について県民への周知を図ります。
- ◆子宮がん・乳がん、骨粗しょう症検診実施率の向上を図り、女性特有の病気の予防対策を推進します。

## 県民の皆さんに期待すること（抜粋）

- ◆固定的役割分担意識の改革
- ◆暴力の防止に向けた家庭教育
- ◆健康面における互いの性の理解・尊重

## 主要目標（抜粋）

※数値はH32目標値

- ◆共働き世帯における女性の家事時間に対する男性の家事時間の割合（40%）
- ◆DV防止法の名称又は内容を知っている人の割合（90.0%）
- ◆子宮（頸）がん検診及び乳がん検診受診率（50.0%）

## 職場で

◆女性の就職率が上昇していますが、M字カーブは解消されていません。【図2】



◆岩手県は全国と比較して年間総労働時間数が長くなっています。【図3】

◆女性が職業をもつことについての県民の意識は「一生もちつづける方がよい」と考える割合が高くなっていますが、一方で現在の社会は女性が働きにくいと考えている県民の割合は高くなっています。

## 目指す姿（要約）

- ◆男女均等な機会・待遇が確保されるなど雇用環境が整備され、男女が対等なパートナーシップを発揮します。
- ◆女性が個性と能力を十分に発揮しながら活躍しています。

## 目指す姿を実現するための県の施策の方向（抜粋）

- ◆企業の経営者や男性従事者に対し、ワーク・ライフ・バランスや女性登用の推進、職場における男女の対等なパートナーシップの構築のための研修を開催し、意識啓発を図ります。
- ◆創業セミナーの開催や事業計画の策定支援、創業体験の場の提供などを行うことにより、創業を目指す女性を支援します。
- ◆育児・介護休業制度等の両立支援制度の周知を図るとともに、子育てしながら働きやすい職場環境づくりに取り組む企業などを認証し、顕著な功績があった企業を表彰します。

## 県民の皆さんに期待すること（抜粋）

- ◆働き方の見直しや、男女均等な雇用環境の整備に関する意識改革
- ◆起業活動者のネットワーク形成等による取組の波及

## 主要目標（抜粋）

※数値はH32目標値

- ◆男性のためのワーク・ライフ・バランスセミナー出席者数（累計）（300人）
- ◆女性活躍のための経営者研修出席者数（累計）（350人）
- ◆いわて子育てにやさしい企業の延べ認証数（累計）（41社）

## 地域で

◆意識調査の結果では、「社会慣習の中での不平等感の割合」がほとんど低減しておらず、幅広い世代へ、継続して意識啓発を図っていく必要があります。【図4】



◆全ての人々にとって住みよいまちづくりのためには、地域コミュニティの強化、防災など、さまざまな地域課題の解決に向けた活動において、男女が共に対等な立場で参画し、男女双方の視点から企画・立案・実践していく必要があります。

## 目指す姿（要約）

- ◆東日本大震災津波からの復興や防災、社会における様々な政策・方針決定過程に男女がバランスよく参画しています。
- ◆男女の違い等に十分配慮した防災対策が行われ、防災・災害の現場において女性が活躍し、地域防災力が向上しています。
- ◆社会における制度や慣行が、男女共同参画の視点から必要な見直しが行われ、男女の社会における活動の選択に中立的に働くものになっています。

## 目指す姿を実現するための県の施策の方向（抜粋）

- ◆女性を始めとする多様な主体が参画できる環境を整えます。
- ◆家庭・職場・地域における慣習・しきたりについて、男女共同参画の視点で気づきや見直しを促すための意識啓発を行います。

## 県民の皆さんに期待すること（抜粋）

- ◆復興まちづくり等復興に関する取組や防災訓練等防災に関する取組への積極的な参画
- ◆女性に対する偏見の解消など意識改革
- ◆地域における制度・慣行の見直し

## 主要目標（抜粋）

※数値はH32目標値

- ◆女性委員が参画する市町村防災会議の割合（100%）
- ◆社会慣習の中での不平等感の割合（60%以下）